

第1回リモート支部長会

【挨拶】

明日から2学期が始まるところもあるというお忙しい中、リモート支部長会にご参加くださりありがとうございました。(8月23日)

5月22日の書面による総会において2期目に入りました理事長の福井です。よろしくお願いいたします。

全幼研は常に「今後、予測がしにくい時代が来る。それに対応できる柔軟性が必要です!」といい続けておりましたが、その時代がまさにきており、今、全幼研が力を試されているのだらうと思います。

北は北海道、南は九州まで全国の支部長様と本部役員、事務局員がこのようにリモート会議で顔を合わせられるということも、全幼研が時代に対応しているということではないでしょうか。

2020年はオリンピックイヤーで歓喜に沸いていたはずなのですが、コロナウイルス感染症拡大のため延期となり、本会も兵庫、東京大会が1年ずつ延期となりました。快く賛同して下さった兵庫支部・東京支部の皆様、そして誌上開催を受け入れて下さった愛知支部の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。ただ、この状況は、いつまで続くのか、どのように収束するのか予測が付きません。その都度対応していくことしかできませんが、全国の会員の皆様が安心して笑顔で学び合えるようにと考えて参ります。

本日は2時間という限られた時間内ではありますが、情報を交換しながら今後の全幼研の運営について話し合えたら幸いです。特に今後の大会や運営についてのご意見も期待しております。

なお、日曜日にこのようリモート会議を開催したのは、まだまだリモート環境が整っていないところもありますし、私的研究会ですので個人での対応となりますので、休日にさせていただきました。リモート環境の整備状況などについても教えていただければ今後の大会や会議の運営の参考にさせていただきます。

それでは、初めてのリモート会議が途切れることなく、充実した時間となります事を願ってご挨拶とさせていただきます。

【議事】 後日、掲載。

【終わって】

初めての試みでしたが16支部長の参加をいただき、コロナ禍での園の対応を伺い、子供の命を守りながら育ちを保障し、乗り越えていこうとする先生方の工夫と努力に感服しました。

「焦らず、地道にできることをやっいていこう」の言葉が心に残る充実した会になり大成功!詳しくは後日お知らせいたします。

理事長 福井 直美

